



海外旅行の感染予防 予防接種も忘れずに！

平成 31 年 4 月 17 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 31 年 15 週分・4 月 8 日～4 月 14 日)

《 インフォメーション 》

●海外へ渡航されるみなさまへ

まもなく春の大型連休に突入します。今年は、新天皇の即位による祝日もあり、10 連休となります。この連休を利用して、海外に旅行される方も多いと思います。海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防に関する方法を身に付けてから出発しましょう。

渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは、食べ物や水を介した消化器系の感染症（A 型肝炎、E 型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど）です。また、海外では、日本で発生していない動物・蚊・マダニなどが媒介する病気、麻しん（はしか）、風しんなどが流行している地域があるため、注意が必要です。

予防接種を受けることで、感染症のリスクを下げるができる病気があります。必要な予防接種は、渡航先、渡航期間、渡航形態、自身の年齢、健康状態、予防接種歴などによって異なるため、事前に、検疫所や外務省のホームページなどで渡航先の感染症情報を収集し、どの予防接種を受けるかを判断しましょう。

次のことに注意して、楽しい旅行にしましょう。

検疫所 <http://www.forth.go.jp/index.html>
外務省 <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は十分に火の通ったものを食べましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 動物は、狂犬病や鳥インフルエンザなどの病原体をもっていることがあるので、むやみに触らないようにしましょう。
- 注射器の使い回しなどによる薬物使用や性交渉で感染し、一生の後悔をすることのない行動をとりましょう。
- 帰国後に体調不良を感じた場合は、早めに医療機関を受診し、渡航歴を伝えましょう。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1 件（60 歳代、女性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件（10 歳代、男性、O26、VT1）
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（第 14 週診断分：70 歳代、女性）
- 梅毒 2 件（①20 歳代、男性、無症候
②30 歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期）
- 百日咳 1 件（10 歳代、女性）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1 位	感染性胃腸炎	6.72（↑）	6.66
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.14（↑）	2.48
3 位	インフルエンザ	1.69（↑）	1.44
4 位	伝染性紅斑	0.83（↓）	0.97
5 位	咽頭結膜熱	0.55（↑）	0.34
6 位	突発性発しん	0.38（↑）	0.31

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年第15週 平成31年4月8日～平成31年4月14日）

分類	疾患	今週報告分（第15週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1				1	5	3	10	7	15	40
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1		1	1		1	3
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎							1					1
	レジオネラ症									3		6	9
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1		1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1	1	1	3
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2		3
	侵襲性肺炎球菌感染症									4	4	2	10
	梅毒				1	1	2			1	1	8	10
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳					1	1			3		8	11
	風しん									1		2	3
	麻しん										1	2	3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	11	6	32	12	20	81	1,367	891	3,036	1,643	3,553
		1.57	1.20	2.46	1.71	1.25	1.69						
RSウイルス感染症				1		2	3	9	17	38	3	53	120
				0.13		0.20	0.10						
咽頭結膜熱		7		5	1	3	16	59	8	122	21	77	287
		1.75		0.63	0.25	0.30	0.55						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	3	22	11	47	91	63	53	289	123	509	1,037
		2.00	1.00	2.75	2.75	4.70	3.14						
感染性胃腸炎		32	19	39	10	95	195	490	300	529	252	1,386	2,957
		8.00	6.33	4.88	2.50	9.50	6.72						
水痘			2	1		4	7	15	8	22	8	110	163
			0.67	0.13		0.40	0.24						
手足口病			1			2	3	14	7	10	3	69	103
			0.33			0.20	0.10						
伝染性紅斑		3		12		9	24	27	9	189	63	74	362
		0.75		1.50		0.90	0.83						
突発性発しん		2		3	2	4	11	12	15	53	15	54	149
		0.50		0.38	0.50	0.40	0.38						
ヘルパンギーナ		2					2	40		3			43
		0.50					0.07						
流行性耳下腺炎							1	2	5		9	18	
急性出血性結膜炎											5	5	
流行性角結膜炎			1	1		2	1	4	14	15	2	36	
			0.50	1.00		0.29							
細菌性髄膜炎											3	3	
マイコプラズマ肺炎									1	1		2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									4	6		10	
インフルエンザによる入院患者（*）	2			2	1	5	41	42	51	93	93	320	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週（9月3日）～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

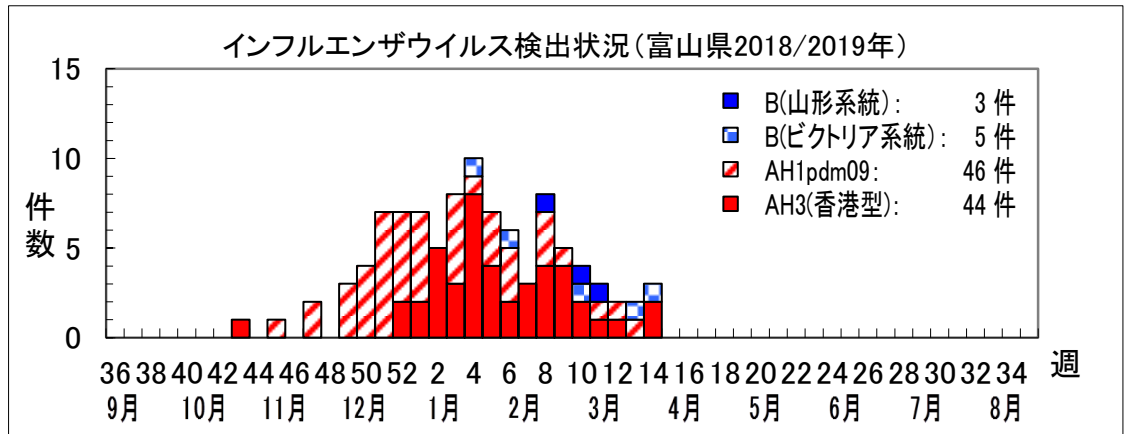
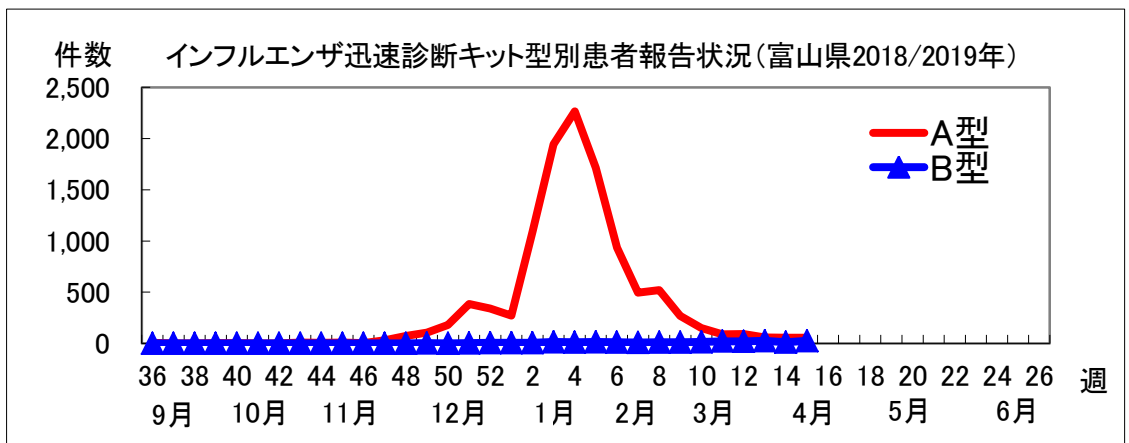
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が65.9%、B型が29.5%となっています。

第15週(4/8~4/14)：富山県 1.69人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	11	0	0	11
中部	2 / 5	6	0	0	6
高岡	9 / 13	17	13	2	32
砺波	5 / 7	12	0	0	12
富山市	10 / 16	9	11	0	20
富山県	30 / 48 ^{※1}	55	24	2	81
富山県累計(2018年36週~)		11,163	219	297	11,679

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が30か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



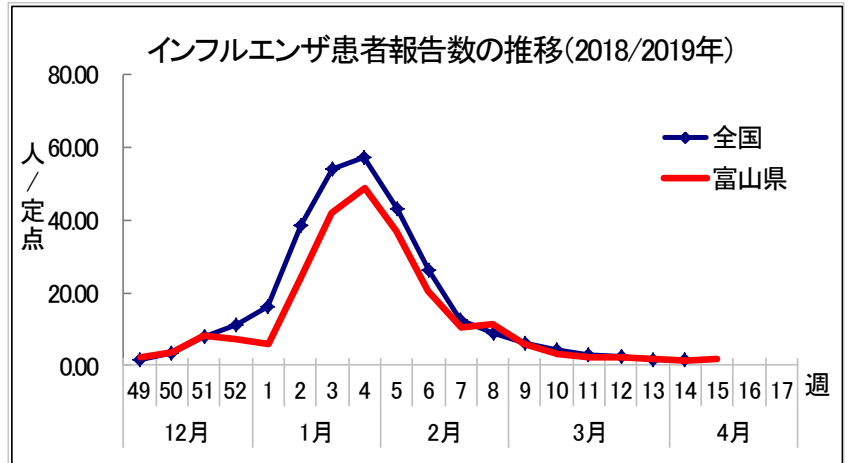


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第15週 (4/8~4/14) : 富山県 1.69 人/定点

新川 HC (1.57)、中部 HC (1.20)、高岡 HC (2.46)、砺波 HC (1.71)、富山市 HC (1.25)

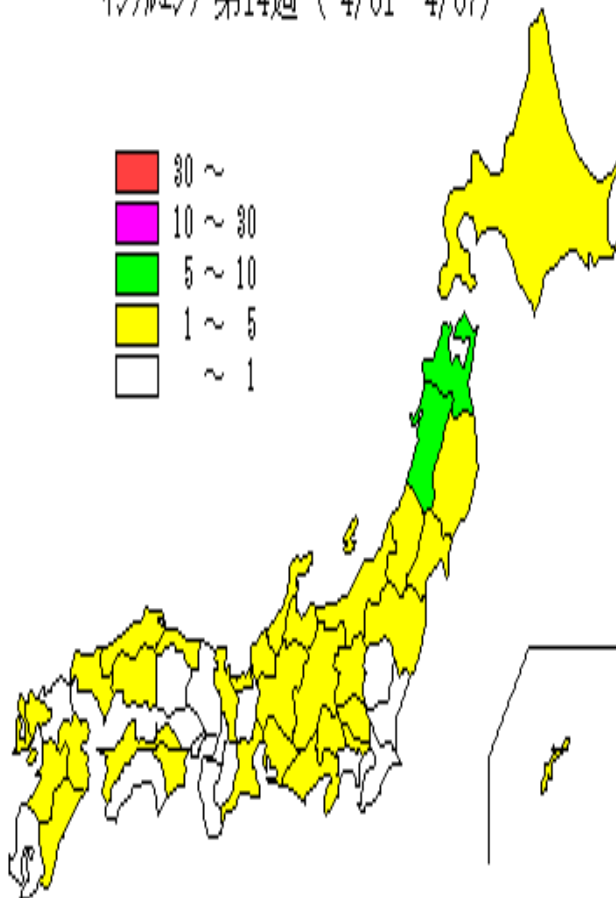
県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあり、終息に向かっていると思われま



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第14週 (4/1~4/7)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.46 人となり、前週の 1.73 人より減少しました。14 都県で前週より増加しています。33 道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第14週 (4/01- 4/07)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.64	滋賀県	0.92
青森県	5.02	京都府	1.17
岩手県	2.12	大阪府	0.94
宮城県	2.45	兵庫県	0.84
秋田県	8.00	奈良県	0.85
山形県	3.24	和歌山県	0.22
福島県	3.36	鳥取県	1.97
茨城県	0.88	島根県	1.74
栃木県	0.97	岡山県	0.94
群馬県	1.38	広島県	1.48
埼玉県	1.07	山口県	1.24
千葉県	0.85	徳島県	1.49
東京都	1.07	香川県	2.45
神奈川県	0.80	愛媛県	2.11
新潟県	3.31	高知県	0.52
富山県	1.44	福岡県	0.91
石川県	2.17	佐賀県	1.59
福井県	2.59	長崎県	2.43
山梨県	1.21	熊本県	1.13
長野県	1.80	大分県	1.47
岐阜県	1.06	宮崎県	2.03
静岡県	1.06	鹿児島県	0.85
愛知県	1.35	沖縄県	3.52
三重県	1.17	全国	1.46

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年3月分）

		3月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症	1		2		4	7	2		3		23	28
		1.00		0.67		1.00	0.70						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		1	3	2	1	7		2	6	2	7	17
			1.00	1.00	2.00	0.25	0.70						
	尖圭コンジローマ					2	2			3		6	9
						0.50	0.20						
	淋菌感染症	2		1		1	4	2		1		7	10
		2.00		0.33		0.25	0.40						
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			3			5	8	1	6	7	3	18	35
			3.00			5.00	1.60						
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				2	1		3	1		8	3	1	13
				2.00	1.00		0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。